

押田 憲一 議員



一括質問方式

- ① 災害からの復興
- ② 新型コロナウイルス
- ③ 肱川かわまちづくり
- ④ 防災ヘルメット
- ⑤ 読書通帳

災害からの復興について

問 令和2年度当初予算で、復興に係る予算を多く計上していると思うが、どの程度の規模か。また、復興と同時に本市がさらに地域活性化していくため、どのようなことに配慮し、どのようなことに重点を置いて予算編成したのか。

答 当初予算における復旧・復興予算は、大洲市復興計画に定める市民生活の再生、生活基盤の再生、経済産業の再生、防災力の向上の4つの基本方針に基づき、24億9,8

51万円を計上しました。

主なものとしては、市内3地域に災害公営住宅を建設する経費や流出した大成橋の復旧事業として愛媛県への業務委託費を計上し、保育所については、肱南地区認定こども園の施設整備費や三善保育所と粟津保育所を統合した認定こども園を整備するための測量設計委託料、商工業の再建支援として、防災対策支援事業費補助金を計上しています。

また、現在の肱川減災対策計画を見直す費用を計上し、内水対策や減災対策に計画的に取り組むこととしています。特に、豪雨災害で被害が大きかった肱川地区と大川地区は、地区別計画に基づき各事業を進めていく経費を計上しています。

このほか、肱川、河辺地域の防災行政無線デジタル化事業費を計上し、令和3年度までに整備することとしています。

新型コロナウイルスについて

問 新型コロナウイルスへの対応についてお聞きする。

答 本市では、3月2日に、大洲市新型コロナウイルス感染症警戒本部から対策本部に切りかえ、感染拡大防止に向けた取り組みを進めています。

発熱などの症状が出た場合の対応

は、症状が見られたときは外出を控え、会社等は休むようお願いしています。また、37度5分以上の発熱等の症状が4日以上続くときは、帰国者・接触者相談センターにご相談いただくようにしています。

特に、持病のある方は、発熱等が2日程度続くようであれば早目のご相談をお願いしていますが、その結果、感染の疑いのある方は、保健所から指定された病院で検査を受けることになり、陽性の場合は入院となります。また濃厚接触者は、陽性の場合には入院となり、陰性の場合は自宅待機となります。

予防としては、入念な手洗いとアルコール消毒、うがい、マスク着用のほか、バランスのよい食事や十分な睡眠と体調管理をしていただくことが有効と言われており、ホームページや防災行政無線でも注意喚起を行っています。

読書通帳について

問 読書通帳は、借りた本を通帳に印字して記録するもので、これまで図書館を利用する機会の少なかった子供たちに、読書の楽しさや図書館利用のきっかけづくりを行い、読書意欲を増進する目的のもの

である。子供たちに語彙力や想像力等を与

える読書通帳の導入について、前向きな答弁をお願いしたい。

答 読書通帳は、子供たちにとって読書意欲を向上させるための効果的なツールで、読書習慣の確立にも大きく貢献してくれるものとして、市立図書館でも以前から注目し、導入を研究していました。

そうした中、平成29年度に愛媛県で統一的な「みきゃん通帳」ができたため、読書通帳の代替えとして活用することとし、現在も県内の学校で活用していますが、残念ながらこの「みきゃん通帳」は自動で印刷する機械には利用できません。

今後は、先進事例を参考に読書通帳の導入による効果を見極めながら検討していきます。

読書通帳(立山町立立山図書館)

